

(様式第 9)

25 昭大病発第 16 号

0 月 4 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名

昭和大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	101人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	369人	81人	450.0人	看護補助者	11人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	0人	2人	理学療法士	8人	臨床検査技師	70人
薬剤師	55人	0人	55人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	0人	その他	0人
助産師	54人	0人	54人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	2人
看護師	907人	3.2人	910.2人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1人	栄養士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	0人	事務職員	136人
管理栄養士	4人	0人	4人	診療放射線技師	44人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	685.6人	一人	685.6人
1日当たり平均外来患者数	1542.5人	19人	1561.5人
1日当たり平均調剤数	4000.7 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	35人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	12人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	36人
・全身性エリテマトーデス	226人	・重症急性膵炎	24人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	10人
・再生不良性貧血	32人	・混合性結合組織病	31人
・サルコイドーシス	19人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	1人	・特発性間質性肺炎	3人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	71人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	51人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	69人	・肺動脈性肺高血圧症	0人
・潰瘍性大腸炎	5人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	173人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	5人	・慢性血栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	1人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	5人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	83人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	0人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	33人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・後縦靭帯骨化症	14人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	12人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェグナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	10人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	1人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	14人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
栄養管理サービスの将来予測評価に基づく管理栄養士の人材育成システム構築に関する研究	菅野 丈夫	栄養科	500,000	補委 厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究	有賀 徹	救急医学	700,000	補委 厚生労働省
包括的脳卒中センターの整備に向けた脳卒中の救急医療に関する研究	有賀 徹	救急医学	400,000	補委 厚生労働省
身体疾患を合併する精神疾患患者の診療の質の向上に資する研究	三宅 康史	救急医学	700,000	補委 厚生労働省
効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究	三宅 康史	救急医学	5,300,000	補委 厚生労働省
頭部外傷におけるPACAPの神経保護作用と機序の解明	宮本 和幸	救急医学	900,000	補委 文部科学省
内耳機能手術の臨床応用に関する研究	小林 一女	耳鼻咽喉科学	3,600,000	補委 文部科学省
中耳真珠腫におけるマイクロバイオームの検討	比野平 恭之	耳鼻咽喉科学	1,100,000	補委 文部科学省
鼻・副鼻腔粘膜のmicrobiome解析	渡邊 荘	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補委 文部科学省
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	佐々木 康綱	腫瘍内科学	900,000	補委 厚生労働省
腎機能低下患者における塩酸イリノテカンの薬理動態試験	佐々木 康綱	腫瘍内科学	1,050,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[エプレレノン]	小林 洋一	循環器内科学	500,000	補委 厚生労働省
ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	江口 潤一	消化器内科学	1,500,000	補委 厚生労働省
門脈血行異常症に関する調査研究	馬場 俊之	消化器内科学	400,000	補委 厚生労働省
高効率にC型肝炎ウイルス感染を阻止できる中和抗体の開発とその解析	伊藤 敬義	消化器内科学	3,500,000	補委 厚生労働省
B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究	森川 賢一	消化器内科学	10,000,000	補委 厚生労働省
早産低出生体重児の生活習慣病発症の早期リスク予知に関する検討	板橋 家頭夫	小児科学	800,000	補委 文部科学省
早期の栄養障害が及ぼす脂肪組織代謝変動への活性酸素/窒素ストレスの関与とその制御	土橋 一重	小児科学	2,200,000	補委 文部科学省

HTLV-I 母子感染予防に関する研究:HTLV-I 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究	板橋 家頭夫	小児科学	33,000,000	補委	文部科学省
重症新生児のアウトカム改善に関する多施設共同研究	板橋 家頭夫	小児科学	2,000,000	補委	厚生労働省
小児期の食物アレルギーの新しい診断法・管理法の確立と治療法の開発に関する研究	今井 孝成	小児科学	500,000	補委	厚生労働省
母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	400,000	補委	厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	500,000	補委	厚生労働省
乳幼児期のアレルギー疾患の発症要因の集学的解析と発症予防法の開発研究	石川 良子	小児科学	1,500,000	補委	厚生労働省
HTLV-I 母子感染予防に関する研究:HTLV-I 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究	水野 克己	小児科学	1,500,000	補委	厚生労働省
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	土岐 彰	小児外科学	600,000	補委	厚生労働省
慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のありかたに関する研究	秋澤 忠男	腎臓内科学	2,730,000	補委	厚生労働省
かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究	柴田 孝則	腎臓内科学	400,000	補委	厚生労働省
慢性腎臓病の血管合併症における細胞接着斑蛋白HIC-5の機能解析	本田 浩一	腎臓内科学	1,400,000	補委	文部科学省
腎不全病態下における新たな血管石灰化プロセス:エラスチン分解の意義	溝淵 正英	腎臓内科学	900,000	補委	文部科学省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	末木 博彦	皮膚科学	3,000,000	補委	厚生労働省
おいしい摂食嚥下障害食「究極のメニュー」作成に関する研究	和田 真一	リハビリテーション学	2,000,000	補委	文部科学省
日常検査で抗菌薬耐性機構が明らかとならない細菌の耐性表現型と遺伝子型の解析	福地 邦彦	臨床病理学	1,000,000	補委	文部科学省
緑内障に伴う網膜の免疫反応とPACAPの保護作用	關 保	眼科学	1,500,000	補委	文部科学省
眼内圧受容器の存在と緑内障発症機序の組織学的検討	荻野 大	眼科学	900,000	補委	文部科学省
未熟児網膜症に対する抗VEGF抗体の新たな投与法の効果と安全性を検討する研究	齋藤 雄太	眼科学	1,700,000	補委	文部科学省
創傷治癒過程における炎症細胞の役割を探るー人工皮膚モデルを用いてー	加王 文祥	形成外科学	1,300,000	補委	文部科学省
肝斑の治療戦略を探るー肝斑培養皮膚モデルを用いてー	渡辺 あずさ	形成外科学	1,300,000	補委	文部科学省

気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	田中 明彦	呼吸器・アレルギー・内科学	1,000,000	補委	厚生労働省
標準療法不応の肺がんにも有効な新規がんペプチドワクチン療法の開発と創薬展開	廣瀬 敬	呼吸器・アレルギー・内科学	3,200,000	補委	厚生労働省
喫煙者肺扁平上皮癌におけるメタロプロテアーゼによるEGFR-TKI耐性機構の検討	白井 崇生	呼吸器・アレルギー・内科学	600,000	補委	文部科学省
進行非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブの有効性や副作用に影響を与える因子の探索	廣瀬 敬	呼吸器・アレルギー・内科学	700,000	補委	文部科学省
エピジェネティクスに基づく妊娠高血圧症候群の病態把握マーカー知見の獲得	小出 馨子	産婦人科学	1,300,000	補委	文部科学省
母体血中有核赤血球の効率的回収法とその無侵襲胎児診断への応用に関する研究	松岡 隆	産婦人科学	1,100,000	補委	文部科学省
妊娠高血圧症候群の発症予知と治療法の開発	関沢 明彦	産婦人科学	1,200,000	補委	文部科学省
C型肝炎ウイルスのB細胞感染・吸着が惹起する病原性発現機構の解析	伊藤 敬義	消化器内科学	1,000,000	補委	文部科学省
大腸鋸歯状病変における内視鏡的・分子生物学的診断ツールの開発	小西 一男	消化器内科学	900,000	補委	文部科学省
顔認知コミュニケーションの神経基盤の臨床神経心理学的検討	河村 満	神経内科学	2,600,000	補委	文部科学省
ヒトの社会行動に辺縁系が果たす役割	河村 満	神経内科学	1,200,000	補委	文部科学省
術前化学療法後乳がん症例に対するセンチネルリンパ節生検の標準化に関する研究	中村 清吾	乳腺外科学	5,387,000	補委	厚生労働省
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化-	中村 清吾	乳腺外科学	750,000	補委	厚生労働省
遺伝子多型解析による乳癌ホルモン療法の有効性及び副作用予測診断システムの確立	中村 清吾	乳腺外科学	1,000,000	補委	厚生労働省

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
乳癌の臨床	乳腺腫瘍におけるShear Wave Elastographyの有用性	榎戸克年	乳腺外科
日本臨床 乳癌	乳房温存療法の乳房CT有用性評価(多施設共同試験)-広がり診断は不要か-	明石定子	乳腺外科
日本医事新報	低体温症 特に屋内発症の危険性について	三宅 康史	救急医学科
日本救急医学会関東地方会雑誌	重症熱中症における血中Na濃度異常の検討	櫻村 洋次郎	救急医学科
日本外傷学会雑誌	JTDBと医工連携	三宅 康史	救急医学科
LISA	【脳死ドナー発生!臓器摘出術をマネージメントせよ】法的脳死判定 臓器提供における意思の確認を含めて	中村 俊介	救急医学科
日本集中治療医学会雑誌	安静時代謝量を指標とした適切な熱量投与によりrefeeding syndromeから軽快した重症神経性食思不振症の一例	宮本 和幸	救急医学科
薬事	【経管栄養管理に強くなる!】疾患別にみた経管栄養のメリットと注意点 ICU患者	福田 賢一郎	救急医学科
昭和医学会雑誌	動脈塞栓術が有効であった不安定骨盤輪骨折に続発した上腎動脈仮性動脈瘤の1例	平塚 圭介	救急医学科
日本臨床救急医学会雑誌	抗凝固・血小板療法中に右中結腸動脈解離をきたした多発腹部内臓動脈瘤の1例	宮本 和幸	救急医学科
中毒研究	上部消化管内視鏡を用いた積極的な胃石除去が奏功した急性薬物中毒の1例	宮本 和幸	救急医学科
救急・集中治療医学レビュー2012巻	救急疾患への対応 熱中症・低体温症	三宅 康史	救急医学科
交通科学研究資料	JTDBを用いた自転車外傷の現状 医療側のデータ集積を医工連携にどう生かすか	櫻村 洋次郎	救急医学科
日本臨床	【熱中症-適切な対処と予防策-】熱中症の診断・治療・予後 熱中症の後遺症	中村 俊介	救急医学科
今日の移植	臓器移植法改正後の臓器移植の推進と救急医学	有賀 徹	救急医学科
最新医学	【災害医療】災害に特徴的な症状と疾病 熱中症	三宅 康史	救急医学科
日本医師会雑誌	原発に関する日本救急医学会の医療支援	有賀 徹	救急医学科
救急医学	自殺未遂者対策:これまでの成果と今後の展開	三宅 康史	救急医学科
日本臨床皮膚科医会雑誌	本邦における熱中症の実態~日本救急医学会全国調査(Heatstroke STUDY)報告より~	三宅 康史	救急医学科
「医学のあゆみ」	救急医療を経て司法解剖となった辞令における情報取扱いの問題点	有賀 徹	救急医学科
日本救急医学会雑誌	本邦における熱中症の現状Heatstroke STUDY2010最終報告-	三宅 康史	救急医学科
神経内科エマージェンシー	救命外来における神経救急	三宅 康史	救急医学科
レジデントノート別冊 救急・ERノート	頭部外傷	三宅 康史	救急医学科
ICUとCCU 集中治療医学	労働中に起こる熱中症の来院時重症度に影響する因子	三宅 康史	救急医学科
熱中症Review	熱中症Review	三宅 康史	救急医学科
腎と透析	熱中症と水代謝	三宅 康史	救急医学科
日本医師会雑誌	熱中症の治療指針病態生理-体温調節から多臓器不全、DICまで	三宅 康史	救急医学科

Arthritis Rheum	A disintegrin and metalloprotease 10 (ADAM10) is overexpressed in rheumatoid arthritis synovial tissue and mediates angiogenesis	Isozaki T, Rabquer BJ, Ruth JH, Haines GK 3rd and Koch AE	リウマチ・膠原病内科
眼科手術	眼球破裂に対する硝子体手術時の眼内内視鏡使用の有効性	伊藤勇	眼科
眼科臨床紀要	網膜中心動脈閉塞後の頸動脈エコーで可動性プラークが発見された1例	平松類	眼科
日本職業・災害医学会会誌	眼窩内異物を合併した眼窩底骨折の1症例	長谷川裕基	眼科
臨床眼科	脂腺癌の上眼瞼再建後睫毛乱生および霧毛乱生に埋没U字縫合を施行した1例	平松類	眼科
臨床眼科	白内障術中の内視鏡による毛様体と虹彩後面の所見	松原倫子	眼科
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2013 Mar;16(3):327-31	Antero-lateral partial sternotomy for extensive thoracic aortic aneurysm.	Ishikawa N, Omoto T, Ono M, Miyauchi T, Oi M, Maruta K, Iizuka H, Kawaura H.	心臓血管外科
Vasc Endovascular Surg. 2013 Jan;47(1):65-9	Thoracic endovascular repair for aorto-esophageal fistula in patients with esophageal carcinoma: report of 3 cases.	Ishikawa N, Maruta K, Oi M, Iizuka H, Kawaura H, Omoto T.	心臓血管外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2013 Mar;16(3):405-7	Reconstruction of aorto-mitral continuity with a handmade aorto-mitral bioprosthetic valve for extensive bivalvular endocarditis.	Tedoriya T, Hirota M, Ishikawa N, Omoto T.	心臓血管外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2012 Jun;20(3):356-7	Simple and safe graft insertion in the elephant trunk technique.	Ishikawa N, Omoto T, Miyauchi T, Oi M, Fukuzumi M, Tedoriya T.	心臓血管外科
J Cardiovasc Surg (Torino). 2012 Apr;53(2):272-4	Minimally invasive right mini-thoracotomy for reoperative mitral valve replacement after deep sternal wound infection.	Hirota M, Omoto T, Kawaura H, Ohno M, Fukuzumi M, Oi M, Miyauchi T, Ishikawa N, Tedoriya T.	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2012;18(5):488-90	Acute subdural hematoma following thoracoabdominal aortic repair in a patient with Marfan syndrome: a rare complication of cerebrospinal fluid drainage.	Ishikawa N, Omoto T, Oi M, Fukuzumi M, Iizuka H, Kawaura H, Tedoriya T.	心臓血管外科
日本心臓血管外科学会雑誌(0285-1474)41巻4号 Page215-218(2012.07)	心不全を契機に発見された高齢者異型大動脈縮窄症に対して axillo-bifemoral artery bypass術を施行した1治験例(原著論文/症例報告)	丸田 一人, 川浦 洋征, 飯塚 弘文, 福隅 正臣, 石川 昇, 尾本 正, 手取屋 岳夫	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2012 Jul;60(7):425-30.	One-dimensional mean computed tomography value evaluation of ground-glass opacity on high-resolution images	Kitami Akihiko, Y. Kamio, S. Hayashi, K. Suzuki, S. Uematsu, R. Gen, T. Suzuki, M. Kadokura	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2012 Dec;60(12):803-10.	Immunohistochemical analysis of thymic carcinoma focusing on the possibility of molecular targeted and hormonal therapies	Omatsu Mutsuko, T. Kunimura, T. Mikogami, S. Hamatani, A. Shiokawa, A. Masunaga, A. Kitami, T. Suzuki, M. Kadokura, T. Morohoshi	呼吸器外科

肺癌(0386-9628)52巻1号 Page43-48(2012.02)	切除後2年生存を得られた巨大肺癌肉腫の1例	廣野素子, 門倉光隆, 片岡大輔, 楠本壮二郎, 齊藤光次, 園村利明	呼吸器外科
日本気胸・嚢胞性肺疾患 学会雑誌(1883-0412)11 巻3号 Page144- 148(2012.03)	嚢胞内出血ののち血気胸をきたした肺嚢胞の1例	門倉光隆, 片岡大輔, 富田由里, 深山素子, 野中誠, 奥田健太郎, 杉山智英, 廣瀬敬, 惟翔栄, 九島巳樹	呼吸器外科
昭和医学会雑誌 72巻2号 Page222- 228(2012.04)	頭蓋顎顔面領域における生体内分解吸収性骨接合材料の臨床評価 SuperFixsorb MX使用症例の大規模調査	徳中亮平, 門松香一, 吉本信也, 村松英之	形成外科
形成外科 55巻4号 Page419- 425(2012.04)	Marcus Gunn現象の1例	小原英里, 小泉智恵, 大久保文雄, 吉本信也, 宇田川晃一, 毛山章	形成外科
日本形成外科学会誌 32巻4号 Page232- 236(2012.04)	刺青によるPigment positive Mimic lymph nodeを呈する悪性黒色腫の1例	小泉智恵, 毛山章, 吉田行貴, 大久保文雄, 佐藤兼重	形成外科
昭和医学会雑誌 72巻2号 Page222- 228(2012.04)	頭蓋顎顔面領域における生体内分解吸収性骨接合材料の臨床評価 SuperFixsorb MX使用症例の大規模調査	徳中亮平, 門松香一, 吉本信也, 村松英之	形成外科
昭和医学会雑誌 72巻2号 Page222- 228(2012.04)	頭蓋顎顔面領域における生体内分解吸収性骨接合材料の臨床評価 SuperFixsorb MX使用症例の大規模調査	徳中亮平, 門松香一, 吉本信也, 村松英之	形成外科
昭和医学会雑誌 72巻2号 Page216- 221(2012.04)	下顎骨骨折の統計学的考察 骨折線数を考慮した分類による検討	阿部 央	形成外科
PEPARS(1349-645X) 65号 Page1-6(2012.05)	【美容外科的観点から考える口唇口蓋裂形成術】口唇裂手術のエステティックマインド	土佐泰祥, 吉本信也	形成外科
昭和医学会雑誌 72巻3号 Page336- 341(2012.06)	ラット大腿動脈におけるボツリヌストキシンA型による血行動態変化について	佐藤雅秀, 清水祐紀, 林稔, 横山才也, 吉本信也	形成外科
癬痕・ケロイド治療ジャーナル 6号 Page19-22(2012.07)	ケロイド・肥厚性癬痕の分類・評価 ケロイド・肥厚性癬痕分類・評価表2011 JSW Scar Scale 2011	土佐泰祥, 癬痕・ケロイド治療研究会ケロイド・肥厚性癬痕分類・評価表作成ワーキンググループ	形成外科
昭和医学会雑誌 72巻4号 Page453- 470(2012.08)	前外側大腿皮弁を試みた34例の検討	黒木知明, 吉本信也	形成外科
日本形成外科学会誌 32巻8号 Page580- 588(2012.08)	Sinus pericraniiに対して自家骨移植を行った1例および国内の報告69例の検討	信太薫, 大塚尚治, 小原英里, 大久保文雄	形成外科
PEPARS 68号 Page66-76(2012.08)	【レーザー・光治療マニュアル】レーザー脱毛	清水祐紀	形成外科
形成外科 55巻8号 Page843- 850(2012.08)	【鼻の変形の治療-私の手術法と工夫-】斜鼻 骨軟骨・その他による治療法	土佐泰祥, 吉本信也, 保阪善昭, 横山才也, 黒木知明, 林稔	形成外科
形成外科 55巻増刊 PageS48- S53(2012.09)	【研修医・外科系医師が知っておくべき形成外科の基本知識と手技】局所解剖と皮切・縫合・創傷処置の注意点 頭皮(解説/特集)	佐藤伸弘, 吉本信也	形成外科
PEPARS 70号 Page69-73(2012.10)	【形成外科治療に必要なくすりの知識】美容外科領域での薬	大久保文雄, 森岡大地	形成外科

日本褥瘡学会誌 14巻4号 Page594- 597(2012.10)	挿管チューブの圧迫が原因と考えられた舌壊死の1例	林 稔, 三川 信之, 雑賀 厚臣	形成外科
日本形成外科学会誌 33巻1号 Page18- 23(2013.01)	縫合糸矯正法による簡便な対耳輪作製の経験	吉本 信也, 清水 祐 紀, 土佐 泰祥, 門 松 香一, 佐藤 伸弘	形成外科
形成外科 56巻1号 Page67- 74(2013.01)	専門医取得に必要な形成外科手技 口頭試問への 対策 眼瞼下垂症	清水 祐紀	形成外科
PEPARS 75号 Page99- 107(2013.03)	【ここが知りたい!顔面のRejuvenation-患者さんからの 希望を中心に-】顔面・頭部 頭部の Rejuvenation治療戦略	清水 祐紀	形成外科
形成外科 56巻3号 Page263- 268(2013.03)	【『口唇裂の診断と治療』ガイドライン作成にあたっての私の提言】術前顎矯正に関するクリニカル・ク エッションを作成して	土佐 泰祥	形成外科
日本美容外科学会会報 35巻1号 Page15- 25(2013.03)	高密度焦点式超音波治療装置(ウルセラTM)が変 えるたるみ治療の概念	加王 文祥, 原口 和 也	形成外科
J Craniomaxillofac Surg. 2013 Feb 25. doi:pii: S1010-5182(13)00042-5. 10.1016/j.jcms.2013.01.02 6. [Epub ahead of print]	Surgical treatment of facial fracture by using unsintered hydroxyapatite particles/poly l-lactide composite device (OSTEOTRANS MX®): A clinical study on 17 cases.	Hayashi M, Muramatsu H, Sato M, Tomizuka Y, Inoue M, Yoshimoto S.	形成外科
Ann Plast Surg. 2012 Nov;69(5):540-6. doi: 10.1097/SAP.0b013e318 21d0531.	Classification of recipient veins in microsurgical flap reconstructions of the lower extremities.	Kusano T, Kimura N, Saito M, Fujimura T, Kuwahara H, Yokoyama T, Hosaka Y, Yoshimoto S.	形成外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012 Mar;65(3):372-8. doi: 10.1016/j.bjps.2011.09.04 0. Epub 2011 Oct 24.	Association between plate location and plate removal following facial fracture repair.	Kubota Y, Kuroki T, Akita S, Koizumi T, Hasegawa M, Rikihisa N, Mitsukawa N, Satoh K.	形成外科
World Allergy Organ J	Asthma in patients with Japanese cedar pollinosis.	Tanaka A	呼吸器・アレルギー 内科
Int Arch Allergy Immunol	Eosinophilic gastroenteritis due to cow's milk allergy presenting with acute pancreatitis.	Suzuki S	呼吸器・アレルギー 内科
Anticancer Res	Evaluation of the safety and efficacy of combination chemotherapy with vinorelbine and platinum agents for patients with non-small cell lung cancer with interstitial lung disease.	Okuda K	呼吸器・アレルギー 内科
Oncol Res	Relationship of circulating tumor cells to the effectiveness of cytotoxic chemotherapy in patients with metastatic non-small-cell lung cancer.	Hirose T	呼吸器・アレルギー 内科
昭和医学会雑誌	進行再発非小細胞肺癌に対するセカンドライン化 学療法の検討	白井 崇生	呼吸器・アレルギー 内科
日本臨床	副作用概論 薬効群別副作用 気管支拡張薬・気 管支喘息治療薬	廣瀬 敬	呼吸器・アレルギー 内科
アレルギー	喘息コントロールに影響を与える季節についての検 討	山口 宗代	呼吸器・アレルギー 内科
日本内科学会雑誌	気管支喘息治療最近の話題—抗IgE抗体治療を中 心として—	田中 明彦	呼吸器・アレルギー 内科

アレルギーの臨床	IgEの位置付け	田中 明彦	呼吸器・アレルギー 内科
呼吸	ガイドラインに基づく軽症喘息患者の治療目標の設定	田中 明彦	呼吸器・アレルギー 内科
臨床免疫・アレルギー科	抗IgE抗体療法の現状と新たな展開	田中 明彦	呼吸器・アレルギー 内科
Medicina	呼吸器薬 ロイコトリエン受容体拮抗薬	山本 真弓	呼吸器・アレルギー 内科
アレルギー・免疫	内科 治験プロトコールと評価項目の設定	田中 明彦	呼吸器・アレルギー 内科
レジデントノート	肺疾患 気管支喘息についての疑問 診断へのアプローチ、治療、薬について教えてください	横江 琢也	呼吸器・アレルギー 内科
Ultrasound Obstet Gynecol. 2012; 40(4): 476-468	High-intensity focused ultrasound treatment for twin reversed arterial perfusion sequence	Ichizuka K,	産婦人科
Taiwan J Obstet Gynecol. 2012 Mar;51(1):3-6	Prediction of hemorrhage in placenta previa	Hasegawa J,	産婦人科
東京産婦人科医会誌 第 44号 Page70-78(2012)	外陰部疾患—外来での鑑別を中心として—	森岡 幹	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res. 2012 Oct 29	Distribution of nuchal translucency thickness in Japanese fetuses	Hasegawa J	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res. 2012 Aug;38(8):1041-5	Amount of hemorrhage during vaginal delivery correlates with length from placental edge to external os in cases with low-lying placenta whose length between placental edge and internal os was 1-2 cm	Nakamura M	産婦人科
日本産科婦人科学会関 東連合地方部会誌 49巻 4号2012年	子宮体がん症例のMRIおよび内膜組織生検による術前診断の精度に関する検討	徳中 真由美	産婦人科
日本周産期・新生児医学 会誌 第48巻 第1号 60 -64頁 2012年	高齢妊娠において母体・胎児の予後を悪化させる因子についての検討	大瀬寛子	産婦人科
Prenat Diagn 2012,May3:1-1	Attitudes toward non-invasive prenatal diagnosis among pregnant women and health professionals in Japan	Yotsumoto J,	産婦人科
Replid Sci in press	Physiological changes in the pattern of placental gene expression early in the first trimester	Miyagami S	産婦人科
篠原出版・47～50頁,51～ 53頁 東京・2012年6月25 日	遺伝性乳がん・卵巣がんの基礎と臨床 家族歴の聴取方法,未発症保因者への対応	四元淳子	産婦人科
日本女性骨盤底医学会 誌 第9巻第1号 37-40、 2012	「女性骨盤底疾患の保存的治療 薬物療法:エストロゲン治療」	清水幸子	産婦人科
J Reprod Med. 2012; 57(7-8): 301-304	Complete hydatidiform mole coexisting with a normal fetus delivered at 33 weeks of gestation and involving maternal lung metastasis: a case report	Yasushi Sasaki	産婦人科
Arch Gynecol Obstet 286 (2) 337-345 (2012)	Retrospective cohort study :a comparison of two different management strategies in Patients with preterm premature rupture of membranes	A Shinjo	産婦人科
日本周産期・新生児医学 会雑誌 48 (1) 60-64 (2012)	高齢妊娠において母体・胎児の予後を悪化させる因子についての検討	大瀬寛子	産婦人科

日本産科婦人科学会雑誌 第64巻 第11号 PN-435~PN-442 2012.	日本産科婦人科学会 研修コーナー 「胎児心拍数モニタリングー胎児心拍数陣痛図の判読と胎児管理の指針 Intrapartum Management Guidelines Based on FHR Pattern Classification」	岡井 崇	産婦人科
Acta Obstet Gynecol Scand 2012 Oct;91(10):1206-11	Maternal cell-free messenger RNA in twin pregnancies: the effects of chorionicity and severe twin to twin transfusion syndrome (TTTS).	Sekizawa A	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌63巻12号 PageN-270-N-276, 2011	症例から学ぶ:ハイリスク妊娠への対応:脳性まひと母体死亡事例の分析からみた予防対策 妊産婦死亡登録事例の原因分析からみた予防対策: 新しい妊産婦死亡登録制度の概要について	関沢 明彦	産婦人科
東京産科婦人科学会誌 61巻3号 p337-341 (2012)	腹腔鏡下子宮内膜症性嚢胞摘出手術による卵巣予備能および妊孕性への影響 片側および両側側嚢胞摘出術について	近藤哲郎	産婦人科
J Matern Fetal Neonatal Med. 2012 Oct;25(10):1909-12	Gestational weight loss has adverse effects on placental development	Hasegawa J	産婦人科
超音波医学39巻3号 Page291-296, 2012	胎盤血管腫の破綻により胎児貧血を起こした1例	仲村将光	産婦人科
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌 第48巻 第2号 9-12頁 2012年	Sinusoidal patternに類似した波形を呈した先天性多発性関節拘縮症の一例	大瀬寛子	産婦人科
超音波医学会誌 39巻2号 Page139-142 (2012.03)	腹腔鏡下手術に腹腔鏡用超音波が有用であった再発粘膜炎下腫瘍の1例	三村 貴志	産婦人科
関東連合産科婦人科学会誌 49巻1号 Page109-113 (2012.03)	卵管間質部妊娠に対し腹腔鏡下にCornuostomy(卵管切開術)を施行した1例	三村 貴志	産婦人科
東京産科婦人科学会誌 61巻・1号・102~106頁・2012	術前診断に苦慮した常位胎盤早期剥離の1例	松浦 玲	産婦人科
東京産科婦人科学会誌 61巻1号 Page55-61(2012.04)	自然排卵周期に成立した子宮内外同時妊娠の1例	丸山 大介	産婦人科
東京産科婦人科学会誌 61巻2号 Page219-223(2012.07)	当院で腹腔鏡下に治療しえた腹膜妊娠の2例	奥山 亜由美	産婦人科
東京産科婦人科学会誌61巻3号 Page424-428(2012.10)	Peutz-Jeghers syndromeに合併した複雑型子宮内膜異型増殖症の1例	廣瀬 佑輔	産婦人科
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌. 2012;vol48(2)pp19-22	当院におけるリポゾーム化ドキシソルビシンの使用経験	秋野亮介	産婦人科
Circ J	Anxiety disorder is associated with nocturnal and early morning hypertension with or without morning surge: ambulatory blood pressure monitoring	茅野 博行	循環器内科
Europace	Type III procollagen-N-peptide as a predictor of persistent atrial fibrillation recurrence after cardioversion	河村 光晴	循環器内科
Journal of Arrhythmia	Drug-induced Brugada syndrome	箕浦 慶乃	循環器内科
Journal of Arrhythmia	Increase in Tpeak -Tend interval induced by Cardiac resynchronization therapy is a predictor of ventricular tachyarrhythmia	三好 史人	循環器内科

Journal of Arrhythmia	Long-term effectiveness of right septal pacing vs. right apical pacing in patients with atrioventricular block	菊地 美和	循環器内科
Pediatrics International[Epub ahead of print]	Feeding choice has a gender-associated effect on infant growth	Keiko Nagahara, Kazushige Dobashi and Kazuo Itabashi	小児科
Am J Perinatol 2012;29:377-382	Low HCMV DNA copies can establish infection and result in significant symptoms in extremely preterm infants—a prospective study—.	Wakabayashi H, Mizuno K	小児科
J Perinatol. 2012 Sep 13. [Epub ahead of print]	Perioral movements and sucking pattern during bottle feeding with a novel, experimental teat are similar to breastfeeding.	Segami Y, Mizuno K, Taki M, Itabashi K	小児科
J Hum Lact. 2012 Nov;28(4):529-34	Mastitis is associated with IL-6 levels and milk fat globule size in breast milk.	Mizuno K, Hatsuno M,	小児科
Int J Pediatr. 2012	The development of oral feeding skills in infants.	C Lau, Geddes D, Mizuno K, Schaal B.	小児科
Pediatr Int. 2013 Feb;55(1):114-6	Development of fatty acid calcium stone ileus after initiation of human milk fortifier.	Murase M,	小児科
小児感染免疫24:258-262, 2012.	Yersinia enterocoliticaの菌血症を合併した甲状腺クリーゼの1例	星野顕宏、土橋一重、櫻井俊輔、森田孝次、板橋家頭夫	小児科
栄養日本(0013-6492)55巻6号 Page496-505(2012.06)	食物アレルギー児に対する半定量食物摂取頻度調査票による食事評価システムの構築	長谷川 実穂, 今井孝成, 林 典子, 海老澤 元宏	小児科
アレルギー(0021-4884)61巻11号 Page1665-1674(2012.11)	小児気管支喘息患者における強制オシレーション法による呼吸機能評価	矢川 綾子, 今井 孝成, 山川 啄司, 宮沢 篤生, 中村 俊紀, 石川 良子, 北條 菜穂, 板橋 家頭夫	小児科
日本小児アレルギー学会誌(0914-2649)26巻5号 Page725-731(2012.12)	食品衛生法アレルギー物質を含む食品に関する表示に対する食品衛生監視員への調査	今井 孝成, 海老澤 元宏	小児科
日本小児科医会会報(0912-1781)44号 Page157-159(2012.10)	インフルエンザ罹患児における、インフルエンザワクチンの臨床的有効性の検討	辻 祐一郎(せんぼ東京高輪病院), 市橋 いずみ, 柄澤 千登世, 森田 孝次, 櫻井 基一郎, 板橋 家頭夫	小児科
Spine J. 2013 Mar 21.	A neonate with an anomalous bone attached to the cervical spine.	Nakano Y, Aizawa M, Kako Y, Mizuno K, Itabashi K, Nishimura G.	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌(1347-8540)25巻1号 Page27-30(2013.02)	骨部腫瘍を契機に発見された亜急性骨髄炎の新生児例	櫻井 基一郎(昭和大学 医学部小児科学教室), 山川 琢司, 水野 克己, 板橋 家頭夫	小児科
Allergology International.62(1):85-90, March 2013	Retrospective Multicenter Survey on Food-Related Symptoms Suggestive of Cow's Milk Allergy in NICU Neonates.	Miyazawa.T, Itabashi.K, Imai.T	小児科

日本小児臨床薬理学会 雑誌、25(1):95-99、 2013年2月	添付文書上に記載された投与量および小児薬用量 の推定式より算出された投与量と実際の処方量と の比較	冨家俊弥、若林仁 美、大内美由紀、 板橋家頭夫、村山 純一郎	小児科
Pediatrics International	Mizoribine requires individual dosing due to variation of bioavailability	Toshiya Fuke, Yoshifusa Abe, Satoshi Hibino, et al.	小児科
日本小児科学会雑誌	低出生体重児の乳幼児期における呼吸器疾患の 重症化とその危険因子	星野顕宏、藤井隆 成、阿部祥英、石 川良子、相澤まど か、岩崎順弥、水 野克己、板橋家頭 夫	小児科
Journal of pediatric surgery	Beneficial effects of (-)-epigallocatechin gallate on ischemia-reperfusion testicular injury in rats	Akihide Sugiyama, Masahiro Chiba, Akira Toki, et al	小児外科
Pediatric Blood and Cancer	Peripheral neuroblastic tumors with genotype- phenotype discordance: A report from the Children's Oncology Group and International Neuroblastoma Pathology Committee	Rie Sukanuma, et al	小児外科
小児外科	社会生活の適応性からみた長期予後	鈴木淳一、土岐 彰、千葉正博、杉 山彰英、菅沼理 江、中山智理、小 高智美、大澤俊 亮、他	小児外科
小児外科	新生児腸回転異常症に対する上部消化管造影診 断のpitfall	八塚正四、土岐 彰、鈴木淳一、千 葉正博、杉山彰 英、菅沼理江、田 中彩、中山智理、 他	小児外科
Hepatology	25-hydroxyvitamin D(3) suppresses hepatitis C virus production.	Matsumura T	消化器内科
J Viral Hepat.	Genetic polymorphism in cyclooxygenase-2 promoter affects hepatic inflammation and fibrosis in patients with chronic hepatitis C.	Miyashita M	消化器内科
Cancer Gene Ther.	Effects of interferon- α -transduced tumor cell vaccines and blockade of programmed cell death-1 on the growth of established tumors.	Omori R	消化器内科
Hepatogastroenterology	Factors involved in resistance to early treatment of acute cholangitis patients.	Yoneyama K	消化器内科
J Am Coll Nutr.	Long-term enteral immunonutrition containing lactoferrin in tube-fed bedridden patients: immunological and nutritional status.	Takeuchi Y	消化器内科
Oncol Rep.	Interleukin-4 and CpG oligonucleotide therapy suppresses the outgrowth of tumors by activating tumor-specific Th1-type immune responses.	Kajiwara A	消化器内科
Hepatogastroenterology	Factors predicting the appearance of neutropenia in patients with advanced pancreatic cancer undergoing gemcitabine therapy.	Yoneyama K	消化器内科
J Viral Hepat.	Lymphotropic Hepatitis C Virus Has an Interferon- Resistant Phenotype.	Inokuchi M	消化器内科

Hepatology	Dysfunctional B-cell activation in cirrhosis resulting from hepatitis C infection associated with disappearance of CD27-positive B-cell population.	Doi H	消化器内科
臨床栄養	経管栄養患者の栄養状態の評価71例の横断調査.	竹内義明	消化器内科
消化と吸収	経管栄養患者におけるラクトフェリン含有免疫流動食の評価 12週間投与試験.	竹内義明	消化器内科
消化と吸収	重症急性膵炎におけるprobioticsの有用性.	北村勝哉	消化器内科
膵臓	Body mass indexからみた重症急性膵炎の予後.	北村勝哉	消化器内科
European Neurology 68 (2012) 34-41.	Picture agnosia as a characteristic of posterior cortical atrophy	杉本あずさ	神経内科
Neurology and Clinical Neuroscience 1 (2013) 18-23.	Successful use of anti epileptic drugs in three cases of epilepsy with higher brain dysfunction	杉本あずさ	神経内科
Brain and Nerve 65 (2013) 195-202.	てんかん性高次脳機能障害の検討	杉本あずさ	神経内科
Eur Neurol 67 (2012) 26-32.	The brainstem is at high risk for recurrent noncardioembolic cerebral infarction in association with diabetes mellitus: A Hospital-Based Study.	村上 秀友	神経内科
Eur Neurol 69 (2012) 158-165.	Self-Rated anosognosia score may be a sensitive and predictive indicator for progressive brain atrophy in amyotrophic lateral sclerosis - An X-ray computed tomographic study.	村上 秀友	神経内科
神経内科 76 (2012) 209-210.	Barringtonの排尿中枢-尿閉を主徴とした脳梗塞例からの考察.	村上 秀友	神経内科
Nephrol Dial Transplant.	Vitamin D receptor activators inhibit vascular smooth muscle cell mineralization induced by phosphate and TNF- α .	Aoshima Y	腎臓内科
Therapeutic Research	慢性腎臓病と酸化HDL、酸化HDLサブフラクションとの関係	本田 浩一	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant.	Long- and short-term treatment with imatinib attenuates the development of chronic kidney disease in experimental anti-glomerular basement membrane nephritis.	Iyoda M	腎臓内科
Neuroimage	An fMRI study of reduced perceptual load-dependent modulation of task-irrelevant activity in adults with autism spectrum conditions.	Ohta H, Yamada T, Watanabe H, Kanai C, Tanaka E, Ohno T, Takayama Y, Iwanami A, Kato N	精神神経科
PLoS One.	Functional alterations in neural substrates of geometric reasoning in adults with high-functioning autism.	Yamada T, Ohta H, Watanabe H, Kanai C, Tani M, Ohno T, Takayama Y, Iwanami A, Kato N, Hashimoto R.	精神神経科
Neurophysiology	Event-Related Potentials and Plasma Levels of Monoamine Metabolites in Normal Subjects.	Iwanami A, Okajima O, Takashio O, Kato N	精神神経科

Endocr J	Increment of C-peptide after glucagon injection determines the progressive nature of Japanese type 2 diabetes: A long-term follow-up study.	Fukui T	糖尿病・代謝・内分泌内科
PLoS One	Multiple SNPs in intron 41 of thyroglobulin gene are associated with autoimmune thyroid disease in the Japanese population.	Ban Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
PLoS One	Glucose-dependent insulinotropic polypeptide prevents the progression of macrophage-driven atherosclerosis in diabetic apolipoprotein E-null mice.	Nogi Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
J Thyroid Res	Proteomic profiling of thyroid papillary carcinoma.	Ban Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Korean Journal of urology	Impalement injury of the urinary bladder. a case report	森田順	泌尿器科
昭和医学会雑誌	前立腺癌患者における血清テストステロン値と臨床的ならびに身体的背景因子との関連に関する検討	中里武彦	泌尿器科
泌尿器外科	下部尿路症状に対するシロドシンの早期効果および安全性についての検討	麻生太行	泌尿器科
臨床皮膚科	重症虚血肢に対する皮膚科的アプローチ	末木博彦	皮膚科
調剤と情報	これだけは知っておきたい皮膚の副作用	末木博彦	皮膚科
泌尿器外科	分子標的薬による皮膚の副作用	末木博彦	皮膚科
皮膚科の臨床	薬剤と皮膚疾患 苔癬型薬疹	末木博彦	皮膚科
J Environ Dermatol Cutan Allergol	Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis-what's new.	末木博彦	皮膚科
皮膚科の臨床	アミロイドーシス診療のアルゴリズム	末木博彦	皮膚科
皮膚科の臨床	造影剤による薬疹	秋山正基	皮膚科
visual dermatology	薬疹に対する内服ステロイドの標準的な使い方	渡辺秀晃	皮膚科
日本臨床	医薬品副作用学—薬剤の安全性使用 update No2—皮膚粘膜眼症候群／中毒性表皮壊死症	渡辺秀晃	皮膚科
MB Derma	薬疹の今 Stevens-Johnson症候群／toxic epidermal necrolysisの臨床と診断	渡辺秀晃	皮膚科
皮膚科の臨床	重要な薬疹;最近の話題と動向 Stevens-Johnson症候群／TEN	渡辺秀晃	皮膚科
昭和医学会雑誌	サイトメガロ感染症と皮膚疾患—薬剤性過敏症症候群ではサイトメガロウイルスの再活性化が生じる	渡辺秀晃	皮膚科
臨床皮膚科	新しいパッチテスト試薬	殿岡永里加	皮膚科

MB Derma	パッチテストを行う前にパッチテストユニットやアレルギーの基礎知識	中田土起丈	皮膚科
J Dermatol	Coexpression of CCR6 and CD146(MCAM) is a marker of effector memory T-helper 17 cells.	神山泰介	皮膚科
J Dermatol	Distinguishing between erythema multiforme major and SJS/TEN immunopathologically	岩井信策	皮膚科
臨床皮膚科	下肢の暗紫紅色結節により判明した骨髄異形成症候群の1例	今泉牧子	皮膚科
皮膚病診療	病理組織学的に毛包性ムチン沈着症と鑑別を要した好酸球性膿疱性毛包炎	鈴木悠花	皮膚科
皮膚病診療	急性腭炎を発症したeruptive xanthoma	北川真希	皮膚科
皮膚病診療	項部の懸垂性eccrine poroma	上岡なぎさ	皮膚科
皮膚病診療	趣味の金継ぎにより生じたウルシによる接触皮膚炎	長村蔵人	皮膚科
皮膚病診療	青年期に入れた蛇型刺青部に肉芽腫病変を生じたサルコイドーシス	北見由季	皮膚科
Dermatitis	Allergic contact dermatitis syndrome from bufexamac for nursing infant	中田土起丈	皮膚科
J Dermatol	Contact urticaria syndrome from eye drops : Levofloxacin hydrate ophthalmic solution	斉藤美穂	皮膚科
皮膚科の臨床	下咽頭癌皮膚転移の1例	殿岡永里加	皮膚科
Psoriasis	乾癬におけるメモリーCD4+T細胞の関与	神山泰介	皮膚科
Clin Imaging	Diagnostic accuracy of ultra-high-b-value 3.0-T diffusion-weighted MR imaging for detection of prostate cancer	扇谷芳光	放射線科
Showa Univ J Med Sci	A Study of Correlation between Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI Using the 3T MRI System and Tc-99m-GSA Hepatic Scintigraphy Hepatic Function Tests in Prehepatectomy Cases	須山淳平	放射線科
BJR	Cerebral CT angiography using a small volume of concentrated contrast material with a test injection method: optimal scan delay for quantitative and qualitative performance	竹山信之	放射線科
頭頸部癌	機能温存を目指した口腔癌治療 小線源治療について	吉村亮一	放射線治療科

臨床病理	Characterization of Two Mobilizable Plasmids Isolated from <i>Enterobacter cloacae</i>	Kunihiko Fukuchi	臨床病理診断科
Mod Rheumatol	Two novel sandwich ELISAs identify PAD4 levels and PAD4 autoantibodies in patients with rheumatoid arthritis	Yasushi Kasahara	臨床病理診断科
臨床病理	HBe抗原陽性期とHBe抗体陽性期を繰り返した症例から分離した2種類のB型肝炎ウイルスにおけるゲノム全塩基配列解析	福地邦彦	臨床病理診断科
J Spine Res	腰椎椎間板の加齢に伴う病理組織学的変化	小林愛宙	臨床病理診断科
昭和医学会誌	炎症性皮膚疾患と鑑別を要する皮膚T細胞リンパ腫の免疫組織化学および分子生物学的解析	猿田裕輔	臨床病理診断科

計 203

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 有賀 徹
管理担当者氏名	管理第二課長 浅川 悦久

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院日誌は管理第一課、それ以外は診療録管理室に保管	病院日誌は各年度ごとに保管。それ以外は1患者1ファイル及び1ジャケットまたは、1診療録単位に診療記録をファイリングし外来・入院・X線写真を区分して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	管理第一課
	閲覧実績	診療録管理室
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号の状況及び第九条の二十三	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部門
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部門
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部門
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部門
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部門
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部門
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部門

第一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部門
-----	------------------------------------	----------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条	院内感染のための指針の策定状況	各診療科、部門、病棟、外来、検査室の院内感染防止対策基本マニュアル内に保管
	の十一 第一項 各号及び第九條の二十三 第一項 第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部門
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部門
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部門
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	管理第一課および薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	管理第一課および薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	管理第一課および薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理第一課および薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理第一課および放射線部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理第一課および放射線部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理第一課および放射線部	

	医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	管理第一課お よび放射線部	
--	---	------------------	--

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 有賀 徹
閲覧担当者氏名	管理第二課 課長 浅川 悦久
閲覧の求めに応じる場所	診療録管理室他

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	2	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	1	件
	地方公共団体	延	1	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.4%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日	
算出根拠	A: 紹介患者の数		16,070	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,041	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,249	人
	D: 初診の患者の数		41,839	人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1) 医療安全に関する基本的な考え方 2) 安全管理の体制確保 3) 医療事故等の院内報告制度 4) セーフティマネージャーの配置 5) 職員研修の実施 6) 医療事故対応マニュアル 7) 患者からの相談への対応 8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 医療事故等の防止、安全管理体制の確保	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5回
・ 研修の主な内容： 4月27日 テーマ「活用しようポケットマニュアル」 参加者995名、DVD視聴98名 6月 4日 テーマ「ヒューマンエラーに対策について」 参加者700名、DVD視聴31名 9月18日 テーマ「医療ガスについて」 参加者573名、DVD視聴31名 11月30日 テーマ「医療機器の安全管理」 参加者331名 1月24日 テーマ「医薬品の安全管理」 参加者387名	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例は、テーマ別分科会において横断的に編成された分科会委員（各部署リスクマネージャーがテーマ別分科会で検討された分析・改善策について、MSM委員会へ報告する。MSM委員会で報告に基づいて医療事故の防止対策業務改善の検討及び推進を図る。 アクシデントについては、医療安全・管理対策委員会において問題点の分析及び改善策を検討する。問題点の分析及び改善策は、各種委員会で報告する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (11) 名 ・ 活動の主な内容： 1) 医療安全対策の推進に関すること。 2) 医療事故に関する報告窓口業務。 3) 医療事故に関する初期情報収集と対応。 4) 医療事故等の原因究明と必要な指導を行うこと。 5) 医療安全管理について職員への教育及び周知徹底業務。 6) 医療安全管理・対策委員会の議事録に関する業務。 7) 訴訟に関する業務。 8) 当該事故関係医療従事者を支援すること。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：基本的な考え方、病院感染防止の体制確保（感染管理部門、院内感染防止対策委員会の設置、委員会の開催、医療関連感染が発生した場合の対応）、病院感染等の院内報告制度、感染リンクドクターと感染リンクナースの配置、職員研修の実施、その他感染防止対策の推進のために必要な基本方針（マニュアルの周知、医療安全管理細数委員会との連携、指針の閲覧に関する方針）</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院内で発生した感染症と薬剤耐性菌、職員の針刺し事例について報告 ・ ICT環境ラウンドとAST（抗菌薬適正使用支援チーム）ラウンド実施と改善状況の報告 ・ ICT調査事例や改善支援事例の報告 ・ 講習会の開催案内と実施状況（出席状況）の報告 ・ マニュアル、指針、委員会規定の見直しと改訂について検討 ・ 手洗いキャンペーンや手指衛生に関連した製品の選定と評価 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手指衛生の5つのタイミング、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）について 2) 活用しようポケットマニュアル 3) <i>Clostridium difficile</i>感染症について 診断から感染管理まで 4) 薬剤耐性菌の複数発生事例 5) 胃腸炎 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>医師や看護師、病院内で勤務する者は、患者や職員の感染症発生時または感染症が疑われる場合、感染管理部門に連絡する。感染管理部門は情報収集と感染予防策の確認や指導、検討を行い、拡大予防と原因の調査を行う。これらの情報をまとめ、毎月院内感染防止対策委員会で事例と対策の実施状況を報告し、情報共有を行う。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>サーベイランスを実施し感染症や薬剤耐性菌の検出率、手指衛生の遵守率、手指医消毒薬の使用状況のベースラインを把握する。感染症発生の早期発見と感染予防策の改善に役立てている。また、定期的に環境ラウンドや抗菌薬適正使用ラウンドを行い、改善支援や評価とフィードバックを継続している。</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
・研修の主な内容：医薬品の安全使用について、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度のリマインド、メディナビ登録の推奨など。	
全職員対象：1) 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度 2) 医薬品副作用 (Infection Control Forum) 3) 医薬品の安全使用	
新臨床研修医対象：1) 医薬品の安全管理と適正使用 2) 医薬品適正使用のための取扱いと注意事項	
新任看護師対象：1) 医薬品の安全使用 2) 薬剤の基礎知識、注意点 3) 医療用麻薬・向精神薬などの重点管理薬について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有 無)	
・業務の主な内容： 第1章 教育・研修 第2章 事故発生時の対応 第3章 外来および入院患者への医薬品の使用と管理 第4章 医薬品情報の収集・管理・提供 第5章 医薬品の採用 第6章 医薬品の管理 第7章 当院における医薬品の適正使用の管理 第8章 薬剤管理指導 第9章 他施設との連携 第10章 放射性医薬品の安全管理・安全使用 第11章 院内製剤の調製および使用に関する事項	
・業務の実施状況：毎月、薬剤部セーフティマネージャーと医薬品安全管理責任者が上記業務内容を巡視し確認。頻度を高めるため、9月より院長巡視に同行し実施状況の確認を試行中。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)	
厚生労働省ホームページ、PMDAメディナビ、製薬企業MR、卸業者またはDSU等より収集。医薬品情報を吟味し、昭和大学医薬品集へのUpdate、またDIニュース等で適宜情報発信。	
・その他の改善のための方策の主な内容： テーマ別分科会で誤薬・誤注射の対策検討。今年度は「薬剤禁忌情報の対応」について強化。薬剤部・病棟等でのヒヤリ・ハット事例の収集・分析と対策の実施。例えば、小児の処方では、体重の確認を必須とし、用量確認のため、処方せんに処方量を記載。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">人工呼吸器、除細動器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニタの安全使用のための研修を行っている。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">重要8品目 (リニアック、RALS、閉鎖式保育器、γセルエラン、除細動器、血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器) および、シリンジポンプ、輸液ポンプの保守点検を管理している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">毎月、医療機器安全NEWSを発行し、PMDAより報告される医療機器の回収・改修情報や重要管理医療機器の紹介、医療機器の使用法、院内における医療機器取り扱い注意事項のお知らせを行っている。	